

山形県スポーツ吹矢協会のあゆみ

平成年月日	で き ご と (敬称略、※は本部関係)
30/5/13	第12回山形県大会 中山町総合体育館 200人参加
30/4/14	県協会総会(組織変更、規約変更、事業経過、事業計画を承認)
30/4/14	湊さかた支部 支部長交代(新支部長 渡部重雄)
30/3/15	山形市西部支部認定06-25号(支部長 鈴木昭吉)
30/1/12	やま魂スポーツ吹矢交流会「新春吹き初め会開催」 65人参加
29/12/8	第2回日本パラスポーツ賞(読売新聞社制定)で天童ラ・フランス支部の阿部正昭さんが新人賞に推薦される
29/10/22	スポーツ吹矢研究会が開催され33名が参加 内容は、「どうしたら7点に入るか」の講義とビデオ撮影による基本動作の再確認
29/9/15	第10回全国障がい者スポーツ吹矢大会(東京港区スポーツセンター)車椅子部門(6M4ラウンド)で基点むらやま支部の星川 照三さんが優勝、立位部門(10M4ラウンド)で天童ラ・フランス支部の阿部正昭さんが準優勝
29/8/30	第2回山形県女性スポーツふれあい祭開催 女性会員45名参加
29/7/22	第2回中村杯スポーツ吹矢六魂大会開催(村山市民体育館)138名参加
29/6/13	米沢上杉支部の支部長鈴木賢一さんが、山形県で初めて6段に昇段
29/6/4	第11回山形県大会 中山町総合体育館 194人参加
29/5/31	「チャレンジデー2017」中山町中央公民館で実施
29/4/15	県協会総会(副会長4人制・5部制<事務局、大会運営部、事業部、教育部、やる気応援隊>、理事会を役員会に変更、平成29年度事業計画等可決)
29/4/15	最上支部 支部長交代(新支部長 奥山幹夫)
29/2/26	國井県会長が師範に認定される
29/2/15	米沢上杉支部 支部長交代(新支部長 鈴木賢一)
28/12/15	新庄支部 支部長交代(新支部長 今田勇)
28/11/26	障がい者サポート公認指導員資格認定試験開催(県協会主催) 15名全員合格
28/11/10	第5回スポーツ吹矢全日本選手権大会(墨田区総合体育館) 県代表3名参加
28/10/26	第1回中村杯スポーツ吹矢六魂大会開催(村山市民体育館)72名参加
28/10/26	協会本部創設の「認定研修所」の第1号にクアハウス基点が認定される
28/10/16	スポーツ吹矢研究会が開催され33人が参加 内容は基本動作試験制度導入を控え基本動作審査表に基づくチェックを参加者全員が体験
28/9/16	第9回全国障害者スポーツ吹矢競技会(東京港区スポーツセンター)男子8Mの部で天童ラ・フランス支部の阿部正昭さんが準優勝
28/8/26	第1回山形県女性スポーツふれあい祭開催 女性会員52名参加
28/7/24	第9回東北大会(宮城県一関市)
28/5/29	第10回山形県大会 天童市スポーツセンター 199人参加
28/4/16	県協会総会・設立10周年記念式典がヤマコーホールで開催される 100名参加
28/4/15	天童荒谷支部認定06-24号(支部長 佐藤孝)
28/3/15	りんどう山辺支部認定06-23号(支部長 鈴木和夫)
	さわやか浜風支部認定06-22号(支部長 須田和子)
28/1/15	チームしらたかプラス支部認定06-21号(支部長 金田 正)
27/11/15	基点むらやま支部認定06-20号(支部長 増川清美)
27/10/18	スポーツ吹矢研究会が開催され44人参加。参加対象者は2段以下で、内容は全日本選手権準優勝鈴木賢一氏の講演、認定試験から見えた15の課題、道具の選び方とメンテナンス、準備体操と整理体操、実技指導等
27/10/4	県協会主催の認定試験(5人)、3年次研修研修会
27/9/25	第8回全国障害者スポーツ吹矢競技会(東京港区スポーツセンター)男子8Mの部で天童ラ・フランス支部の阿部正昭さんが3位入賞

平成年月日	できごと(敬称略、※は本部関係)
27/9/1	さかすいスポーツ吹矢愛好会(会長 須田和子‘酒田市’)が県協会に入会
27/8/13	※協会本部の新理事長に中村一麿呂専務理事が選任された
27/6/29	公認指導員資格認定試験 県協会主催の認定試験が開催され、新たに9人の公認指導員が誕生
27/6/27	※協会本部青柳理事長逝去(78歳)
27/6/17	県協会・庄内四支部の打ち合わせ会(庄内地区大会・認定試験の開催などについて協議)10人出席)
27/6/14	第8回東北大会(福島県川俣町体育館)団体戦の部で、天童ラ・フランス支部が優勝 416人参加
27/5/31	第9回山形県大会 中山町総合体育館 174人参加
27/5/15	山形ブローパイプ倶楽部支部認定06-19号(支部長 天池眞樹)
27/4/18	県協会総会(副会長2人制・四部制<事務局、大会運営部、事業部、教育部>採用可決)
27/4	※全国の支部数1,000支部突破
27/4/1	南原スポーツ吹矢愛好会(会長 渡部昭雄‘米沢市’)が県協会に入会
27/2/26	国井県会長が準師範に認定される ※東北ブロック副部長、教育副部長に国井県会長が任命される
26/11/5	第3回スポーツ吹矢全日本選手権大会(墨田区総合体育館)男子10Mの部で、米沢上杉支部鈴木賢一が準優勝
26/11	※本部会員4万人突破
26/10/23	山形新聞のプラチナ倶楽部「やまがたいきいきライフ」に、スポーツ吹矢の魅力、県内の普及状況などが大きく掲載された
26/10/23	日本海シリーズ大会(鶴岡市小真木原)男子10Mの部で、天童ラ・フランス支部今野盛孝が優勝 90人参加
26/10/19	支部長・公認指導員を対象に「スポーツ吹矢研究会」を開催(本部から山田教育部長・米長普及部長講師 40人参加)
26/10/15	ギフチョウ大石田支部認定06-18号(支部長 大山省三)
26/7/13	第7回東北大会(岩手県北上市)
26/6/26	※協会本部に団体会員制度を導入(PCYスポーツ吹矢愛好会(山形市)が県内第一号で平成26年8月入会)
26/6/4	YBCびよたま番組で、「スポーツ吹矢に挑戦」を10分放映。武田永康上級公認指導員が指導
26/6/1	第8回山形県大会 中山町総合体育館 174人参加
26/5/14	基点スポーツ吹矢愛好会(会長 増川清美‘村山氏’)が県協会に入会
26/4/15	湊さかた支部認定06-17号(支部長 佐藤喜代志)
26/4/15	一吹会酒田支部認定06-16号(支部長 田中豊)
26/4/1	※スポーツ吹矢「基本動作マニュアル」の改訂
26/4/1	※社団法人日本スポーツ吹矢協会が一般社団法人に移行。その後、公認指導員を選挙対象とする代議員制度を導入、山形県定数1人の選挙の結果国井良幾上級公認指導員が選出される
25/11/15	日本海シリーズ大会(鶴岡市)100人参加
25/10/20	支部・愛好会会員を対象に「スポーツ吹矢研究会」を開催(基本動作、実技、道具のメンテナンス等 40人参加)
25/9/22	第6回東北大会(宮城県利府町)

平成年月日	できごと(敬称略、※は本部関係)
25/8/31	山形市児童民生委員協議会研修会で、「スポーツ吹矢の健康効果」と題して講演 70人参加
25/7/29	山形新聞の「仲間と楽しく」の欄に、南陽えくぼ支部が紹介(スポーツ吹矢の基本動作 健康効果、仲間の交流など)された
25/7/17	鶴岡朝陽支部認定06-15号(支部長 原田一衛)
25/6/2	第7回山形県大会 中山町総合体育館 135人参加
25/3~4	スポーツ吹矢のアンケートを実施し106人から回答を得た。道具の選定・メンテナンス、 例会・自宅練習の状況、健康効果等の外、県協会に対する要望事項等。 結果は各支部に報告された。
24/11/4	第5回東北大会(秋田市)女子8Mの部で、寒河江支部の内藤賀代子が優勝
24/8/22	南陽えくぼ支部認定06-14号(支部長 山水克美)
24/6/3	第6回山形県大会 中山町総合体育館 146人参加
24/4/14	県協会の役員に事務局長を加える
23/9/18	第4回東北大会 中山町総合体育館 260人参加 女子8Mの部で、おお郷山形市支部の岩松節子が優勝
23/6/5	※協会本部がブロック長を任命(東北ブロックは吉田福島県会長が新任)
23/6/5	おおさと山形市支部認定06-13号(支部長 岩松堅一) 第5回山形県大会 中山町総合体育館 146人参加
23/4/23	県協会の役員に会計、理事(村山、置賜、庄内)を加える
23/1/7	第1回霞城スポーツ吹矢道場新春吹き初め会開催 23人参加 健康と安全の祈願を行った後、競技会・懇親会を行う
22/11/16	置賜地域スポーツ吹矢体験教室開催
22/10/24	第4回山形県大会 中山町総合体育館 110人参加
22/9/9	遊佐地区スポーツ吹矢体験教室開催 後日、吹矢教室を数回開催し、遊佐スポーツ吹矢愛好会設立
22/9/5	第3回東北大会(福島市)男子8Mの部で、米沢上杉支部の小野寺幸彦が優勝
22/7/23	酒田地区スポーツ吹矢体験教室開催
22/7/14	出羽べにばな支部認定06-11号(支部長 酒井進洋) 天童ラ・フランス支部認定06-12号(支部長 高橋昭三郎)
22/7/6	「青柳会長の講演会」～会員10万人に向けて～、懇親会 43人参加 7月14日付け支部認定書交付式
22/4/1	霞城スポーツ吹矢道場が発足(スポーツ吹矢愛好者の交流と情報交換を目的として 登録会員14人で発足、例会場は霞城セントラル高度情報会議室で、毎月第一金曜 日午後で随時会員、一般体験者の参加も目指すものとした)
22/3/18	米沢上杉支部認定06-10号(支部長 山田誠一)
21/10/26	第3回山形県大会 中山町総合体育館 75人参加
21/8/20	庄内鶴岡支部認定06-09号(支部長 富樫晋作)
21/7/12	第2回東北大会(福島市)
21/2/22	第2回山形県大会 山形市総合スポーツセンター 55人参加
21/2/19	上級公認指導員県内第一号誕生(56号)
21/2/18	寒河江支部認定06-08号(支部長 佐藤惣次)
21/1/20	最上支部認定06-07号(支部長 國井良幾)
20/11/9	第1回スポーツ吹矢東北大会(福島市)男子8Mの部で、山形市中央支部 阿部正敏が優勝
20/9/25	新庄支部認定06-06号(支部長 青柳功一)

平成年月日	できごと(敬称略、※は本部関係)
20/8/24	米沢地区スポーツ吹矢体験教室開催 引き続き吹矢教室を開催し、愛好会設立
20/7/23	鶴岡地区スポーツ吹矢体験教室開催 後日、愛好会設立指導が行われ愛好会設立
20/6/21	大郷地区スポーツ吹矢体験教室開催 引き続き吹矢教室を数回開催し、愛好会設立
20/6/5	山形市総合スポーツセンターでスポーツ吹矢教室が数回開催され、教室終了後 「江南スポーツ吹矢愛好会」設立
20/4/19	寒河江地区スポーツ吹矢体験教室開催 引き続き吹矢教室を数回開催し、寒河江支部設立
20/4	山形新聞の提言の欄に、(社)日本スポーツ吹矢協会山形県支部長の提言「気軽に スポーツ吹矢」が掲載された
20/3/2	第1回スポーツ吹矢山形県大会 山形市江南公民館 36人参加
20/1/17	山形市千歳支部認定06-05号(支部長 山口勇一)
19/10/21	第1回スポーツ吹矢研究会が中山勤労文化センターで開催された 19人参加 スポーツ吹矢の健康効果、基本動作、例会の持ち方、競技大会の開催要領等 多岐にわたる内容について意見交換を行う
19/4	※日本スポーツ吹矢協会が文部科学省から社団法人の認可
19/4/19	※本部正社員・山形県スポーツ吹矢協会会長に國井良幾が任命される
19/3/11	読売新聞のスポーツの欄に、第2回県大会の様子が掲載され、スポーツ吹矢の 健康効果、県内の普及状況などが大きく紹介された
19/3/11	第2回支部連絡会議吹矢大会 山形市江南公民館 40人参加
19/4	※第1回「青柳杯」が東京都で開催(県内から審判員1名参加)
18/10/11	かみのやま支部認定06-04号(支部長 斎藤武司)
18/6/26	※昇段試験審査員に國井公認指導員が任命される
18/2/26	第1回支部連絡会議スポーツ吹矢大会 山形市北部公民館 36人参加 多くの報道機関が取材に訪れ、当日、夕方テレビ放映され、翌日以降新聞各社 が詳しくスポーツ吹矢を紹介した
17/11/27	公認指導員県内第一号誕生(478号)
17/4/24	スポーツ吹矢山形県フェスティバル 山形市江南公民館 70人参加 協会本部相楽常務が来賓(実技指導、認定試験)
17/1/25	山形市中央支部認定06-03号(支部長 武田鉄雄)
17/1/25	さくらんぼ山形支部認定06-02号(支部長 矢萩裕)
16/11/25	山形支部認定06-01号(支部長 國井良幾)のちに「山形ざおう支部(支部長 黒川秀男)」に名称変更
16/6/30	協会本部会員県内第一号(4553号)
10/6	※スポーツ吹矢「会報」発刊
10/4	※第1回スポーツ吹矢全国大会開催
10/4/22	※日本スポーツ吹矢協会設立